



森 湊 灯 台

2014.5-2015.5

岐阜県立森林文化アカデミー 木造建築スタジオ
〒501-3714 岐阜県美濃市曾代88TEL
0575・35・3889/FAX 0575・35・3890Mail
studio@forest.ac.jp/URL www.forest.ac.jp

所在地	岐阜県美濃市曾代88 岐阜県立森林文化アカデミー地内
建築面積	9.5㎡(2.86坪)
設計・施工	岐阜県立森林文化アカデミー 木造建築スタジオ 上野 浩一(十四期生) 稲田 賢(十四期生) 横内 友博(十四期生) 富田 守泰(教授) 廣田 佳子(准教授) 小原 勝彦(准教授) 辻 充孝(准教授)
指導	東濃ひのきの家協同組合 田口 智樹(T-PLAN建築工房)

「山の神」へささげる高さ10Mの木造灯台

灯台は通常「海」につくられるものだが、清流の国・岐阜においては「川」に灯台がつくられてきた歴史がある。美濃市：長良川の河川敷に建つ川湊灯台（県指定史跡）をデザインモチーフに、学内にランドマークをつくる計画である。伝統的なデザインの川湊灯台の理念を継承しつつ、わたしたちは森林を舞台に「森湊灯台（もりみなとどうだい）」をデザインした。

森湊灯台

私たちが強く意識したのはアカデミー演習林の「山の神」だ。アカデミーのランドマークとして象徴性を持たせるべく、山の神を向く強い軸線をもつ配置計画とし敷地に対して20° 角度をふった。平面は、五角形とし方向性を出した。中心に据付けたのは、神が降りてくる目印となる高さ8M心柱（しんぼしら）だ。演習林から選木・伐採し、玉切せずに搬出し皮を剥いた。塔は地上10Mの高さで一点で交わる合掌造りとし、床は漆塗りのコナラフローリング張とし神聖な内部空間とした。一方、下屋は緩やかなムクリをもつ開放的な土間空間とし人が集まりやすいようベンチを配した。



基礎：掘り方



五角形：布基礎配筋



心柱の伐採



心柱の人力搬出



建方：合掌の吊りこみ



建方：足場での作業



漆塗ワークショップ

